「 日本物流記者会賞 」

モーダルシフト（鉄道）

【案件11】　環境負荷低減プロジェクト
モーダルシフトによるパッケージ製品輸送の取り組み

【受賞者・団体】

❶ 佐川急便株式会社
❷ 株式会社平野屋物産
❸ 全国通運株式会社
❹ 日本貨物鉄道株式会社 九州支社

【取り組み概要】（Before ➤ After、CO_2削減）

トラック	➤	鉄道コンテナ（JR12ﾌｨｰﾄ） ※ 1回あたり輸送量：約3➡5tに増加

▲52t／▲81%

印刷物（食品等の充填前のパッケージ類）のモーダルシフト案件です。発・着地ともに、貨物駅の近傍であることを活かし、CO_2 の80%以上の削減を実現しています。トラック輸送と比べて輸送日数は伸びましたが、荷主の理解・協力を得て取り組んだものです。トラックよりコンテナの方が積載量が大きいことも、輸送の効率化につながっています。

【 受賞のポイント 】
トラック比で輸送日数が伸びるにもかかわらず、荷主の理解・協力を得てモーダルシフトに取り組んでいることは、物流2024年問題対応の具体例となる点が評価された。